

松戸市の発展を支えた常盤平団地 輝かしい歴史を振り返ります！

常盤平団地は、戦後日本で初めて醸成された大型中層住宅エリアです。4,600戸を擁する大規模な住宅街ですが、昭和36年に入居開始となってから、およそ2万人の新たな市民を迎え入れました。常盤平地区の発展は、松戸市そのもの成長に大きく貢献しています。

常盤平団地が開発された当時は、日本がまだ戦後復興の時代であり、それともなう高度経済成長期が訪れていた時期でもあります。その当時、職を求めて全国からたくさんの人たちが東京都心にやってきました。そういった人たちに住宅を提供する必要が生じていたのです。そこで、いの一番に手を挙げたのが松戸市でした。最新の設備、高度な区画設計などが高く評価され、常盤

平団地は一躍憧れの住宅街として注目を浴びるようになったのです。誰もが一度は住みたい、そう願った地域です。そういった点から見れば、日本の戦後復興と高度経済成長を支え、我が国の発展に大いに貢献した地域が常盤平団地エリアと言えるでしょう。



求められる常盤平団地の活性化 早急に建て替え計画の具体化を！

かつては活力あふれる地域として輝きを放っていた常盤平団地ですが、現在では大きな問題を抱えています。それはなんといっても、高齢化問題です。現在では住んでいる方の半分以上が55才を超えています。これは準限界集落という位置付けです。そして、さらに高齢化が進み、暮らす方々の半数以上が65才を超えると、限界集落になってしまいます。限界集落とは、その地区の方々が普段の生活をしているだけでは、次第に地域の活力がなくなり、環境が悪化してしまう危険性がある状況です。納税力や消費力が小さくなり、地域社会を守るインフラの維持も困難になってしまいます。そうなっては、市民の健康や安全・安心を守れません。

常盤平地区全体の再生を図るには、常盤平団地の建て替えをもって活性化を目指すしかないと思います。松戸市は今こそUR都市機構としっかりと手を携え、建て替え計画の具体化を確実に進めて行くべきです。



HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ 信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生まれ
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
昭和58年 青山学院 中等部 卒業
昭和61年 青山学院 高等部 卒業
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部